



献血に係る服薬基準について

お薬を服用されていても、種類や服用期間により、献血ができる場合があります。
献血にご協力いただく際には、お薬またはお薬手帳をお持ちいただくか、薬名を献血受付時にご申告ください。

検診医師が健康状態等を考慮し総合的に判断し、献血をご遠慮いただく場合もありますので予めご了承ください。

当日服用しても献血可能なお薬	
ビタミン薬	貧血治療等の場合を除く
ミネラル剤	貧血治療等の場合を除く
漢方薬	肝疾患、感冒、喘息治療等の場合は要確認
抗アレルギー薬	ステロイド含有薬は3日間不可
高尿酸血症治療薬	
脂質異常症（高脂血症）治療薬	抗PCSK9抗体（注射薬）は3カ月間不可
胃腸薬	感染性胃腸炎症状がある場合を除く
予防薬としての胃酸分泌抑制薬	消化性潰瘍がある場合を除く
低用量ピル	事後の緊急ピルを除く
少量の女性ホルモン	更年期障害や月経困難症等の補充療法
局所投与の薬物 （点鼻、点眼、吸入、外用）	心疾患、喘息、病原微生物への局所療法の場合は要確認 外用抗炎症薬（塗布剤、貼付剤）は広範囲への使用の場合、3日間不可※坐薬は、痔疾患薬を除き、内服薬と同じ扱い
緩下剤	
降圧薬	血圧がほぼコントロールされており、心、腎、血管系の合併症がない場合に限る ※使用開始直後や服用量変更直後は要確認
前立腺肥大症治療薬	アボダート、アボルブ、サガーロ、プロスカー、プロペシア等を除く
喘息治療薬	予防的な吸入薬（ステロイド、長時間作用性 β 2刺激薬等）や抗アレルギー薬は可

当日服用していなければ献血可能なお薬

睡眠薬	
抗不安薬	
マイナートランキライザー	
解熱鎮痛剤	症状が無い場合や軽い頭痛、生理痛等の頓用のみ、血小板献血を除き可
風邪薬	
注射	薬効要確認
点滴	薬効要確認

最終服用日を含む3日間は献血いただけないお薬

向精神薬	抗不安薬、マイナートランキライザーを除く
抗菌薬 (抗生物質、合成抗菌薬)	
抗真菌薬	
抗ウイルス薬	
痛風発作治療薬	コルヒチン
喘息治療薬	B刺激薬(経口、長時間作用性 β 2刺激薬を除く吸入、貼付)、キサンチン誘導薬
事後に服用する緊急ピル	

原疾患により原則献血いただけないお薬

抗けいれん薬	
抗凝固薬	
血小板凝集抑制薬	
抗甲状腺薬	
抗不整脈薬	
冠拡張薬	降圧のみ目的の場合は可
強心薬	
抗結核薬	
糖尿病治療薬	

その他、副作用等が知られている薬物(治療用ホルモン薬、免疫抑制剤、抗がん剤、乾癬治療薬、一部の育毛剤及び前立腺肥大症治療薬)や輸血用血液製剤以外の特定生物由来製品(アルブミン、免疫グロブリン、抗Dグロブリン、抗破傷風ヒト免疫グロブリン、ヒトハプトグロビン、フィブリノーゲン※手術時、フィブリン糊、トロンビン、抗HBsヒト免疫グロブリン、ヒト免疫グロブリン、ヒト由来プラセンタ注射薬)については一定期間または無期限献血不可の場合があります。